



御挨拶

東京都立村山特別支援学校長
阿部 智子

日頃から、本校の教育に御理解、御協力をいただき感謝申し上げます。
私は、都立村山特別支援学校第17代校長として着任し、3年目を迎えます。
どうぞよろしく願いいたします。

都立村山特別支援学校は、東京都の「第三次主要施設10か年維持更新計画」に基づき、全面改築に向けて令和5年9月に仮設校舎(緑が丘校舎)に移転してまいりました。

昭和48年4月1日に都立小平養護学校内にて開校後、昭和49年7月7日に出来上がった校舎で授業が始まってから50年の月日が流れ、校舎改築となりました。新校舎建設、完成は現在のところ当初の計画より1年遅れて、令和10年を予定しており、新校舎完成までは緑が丘校舎で村山特別支援学校の轍(わだち)を刻んでいくこととなります。

開校53年目を迎え、肢体不自由養護学校の時代から医療的ケアの体制整備や充実に長年貢献してきた実績のある特別支援学校としての土台をしっかりと固め、学習指導要領に準拠した、根拠に基づいた「村山STYLE」の構築を盤石なものとしてまいります。

令和10年の新校舎完成に向けた時間軸に合わせて、この緑が丘校舎での学びの期間においても、子供たちが様々な変化に積極的に向き合い、自ら考え、選択できる確かな学力と、思いやりの心を忘れない豊かな人間性を身に付けられるよう、多様で柔軟な仕組みの整備に全力を注いでいきたいと考えております。

本校では、多摩地域西部6市1町を通学区域としてスクールバス18コース、医療的ケア専用通学車両8コース計26コースを運行しており、地域の皆様の御理解・御協力をいただきながら、今後も地域に根差した学校として機能するように努めてまいります。

年間を通じて様々な教育活動に取り組み、このホームページにもその様子を発信してまいります。

都立村山特別支援学校の児童・生徒の only one の笑顔や、教職員の特別支援教育の取組等を御覧いただき、今後とも教育活動に対する皆様の御理解と御支援をお願いいたします。

令和8年4月1日